

住田高校魅力化推進会議について

「住田高校魅力化推進会議」とは？

= 学校と地域の協働ビジョンや魅力化の基本方針等を協議・承認する意思決定の場

住田町

町長／教育委員会／関係部署

地域

町内中学校
町内企業&事業者
地域住民

住田高校

校長／副校長／教職員／住田高校教育振興会

推進プレイヤー

「教育コーディネーター」とは？

= 高校生にとって家族や友人、先生といったヨコやタテの関係とは違う「ナナメの関係」の立場から「住田高校魅力化推進事業」の様々な取り組みをおこなっています。



小宅 優美 / Oyake Yumi

住田高校魅力化推進事業統括コーディネーター

【色々な方の声を聞くことを大切に】

この構想をつくる過程では、高校生たちが日頃考えていることや、地域の方々や先生方の教育や地域への思いをうかがい、住田町という小さな町に詰まった様々な可能性に気づくことができました。

住高の魅力化は、学校や地域だけが頑張るのではなく、多くの方の協力をいただきながら進めることで実現します。まだ始まったばかりの事業ですが、誰もが色々な形で高校生をサポートしてくれる住田だからこそ生まれる「魅力化」のカタチがあるはずですよ。

高校生の元気が町の元気につながると信じて、私たちもたくさんの方とつながりながら、引き続き活動していきます。住高生や私たちの活動を応援よろしくお願いします！

高校生がいきいきと
はばたける町を目指して

- 住田高校魅力化構想 -



住田高校魅力化推進会議

ア 「住田高校魅力化構想」とは？

= 岩手県立住田高等学校、住田町役場、地域住民が「住田高校魅力化推進会議」において協議し、定めたものです。本事業を通じて、高校生が地域に飛び出し学びを得る機会をつくり、住田町唯一の県立高校である住田高校と地域が共に魅力を高めていくことを目指します。小さな町からいきいきとはばたく高校生を育てていきます。

わたしたちの育てたい人材



山あいの小さな町から、
視座高く視野広く物事を捉え、
身の回りの社会に誠実に働きかける人材

身に付けてほしい素養



- 自主: 自主的・自律的に行動を起こす。
- 創造: 多様なヒト・モノと出会い、新たな価値を創造する。
- 至誠: 他者を思いやり、誠実に向き合う。
- 共生: 気仙地域の豊かな自然や周囲の人々と共に生き、大切にす。

「住田高校 × 住田町」の可能性

- ✓ 学校や地域の中で様々な人が関わることで、生徒一人一人が自分らしく輝く高校生活をサポートします。
- ✓ 未知の課題に対して、挑戦を恐れず果敢に挑む人材を育てます。
- ✓ 高校生が地域に飛び出しアイデアを形にすることで、地域を元気にしていきます。



推進している取り組み



1 安心して挑戦できる環境づくり

「私も挑戦してみたい」「失敗しても大丈夫」と安心して一歩踏み出せる環境をつくります。

2 多様な出会いの場づくり

地域内外のヒト・モノとつながり、普段の高校生活のみでは得られない出会いを生み出します。

3 地域創造学の充実

住田高校の目玉授業「地域創造学」の充実にむけて、教員や教育コーディネーターが連携して授業を進めます。

4 持続可能な事業の推進

本事業や、住田高校における教育活動が持続可能なものとなるよう事業の推進体制を充実させていきます。

主な活動 住高生のチャレンジ拠点「住高ハウス〇〇」の運営／社会人との対話の場「かたらっせん」／住高生の「やってみたい!」を実現する「住高チャレツジ部」／受験や検定の学習サポート／まちあるき／大学生や他地域の高校生との交流の場づくり／地域の伝統行事やイベントの参加／地元学童との交流…など、1年間で約40もの取り組みを推進中。

「3年間で参加したイベントは20以上！
進路につながる経験になりました」

すべては、コーディネーターさんからの「やってみない？」の声で始まりました。三年間の学校生活では、生徒会やボランティア、海外派遣など参加できるものには全て参加し、色々な人との出会いから地域創造学のテーマや進路の方向性が決まってきました。

大学へ行っても、地域創造学のテーマ「外国人も住みやすいまちをつくる」という研究を続けていきたいですし、高校での経験を今後の人生に活かしていきたいです！

住田高校生の声を聞いてみました！



佐々木 優弥さん (R3年度卒業)